

久美高だより

第5号

発行 平成25年11月

京都府立久美浜高等学校

住所 京丹後市久美浜町橋爪65番地

電話 0772-82-0069

新☆生徒会活動 開始

与謝の海支援学校交流会 参加



10月に選出された新執行部によるはじめての生徒総会が、11月1日(金)に行われました。

安川泰志郎生徒会長や河端諒副会長、司会の多賀野智美副議長らが、緊張した表情で、あいさつや司会進行に臨み、前期の生徒会・専門委員会の成果と反省の報告、後期の方針、目標などの提案を行いました。

翌11月2日(土)には、第26回丹後府立高校・与謝の海支援学校交流会が行われ、生徒会執行部のほか福祉系列・吹奏楽部・軽音楽部など本校からは32名が参加しました。交流会では、吹奏楽部が午前のステージ発表の部で「ふたつの唇」と「紅蓮の弓矢」を演奏し、軽音楽部は午後の全体会で参加者全員で歌う曲の伴奏を担当しました。参加者にステージに上がってもらい、「またあえる日まで」「小さな恋のうた」「陽気に生きようこの人生をさ」「女々しくて」を一緒になって楽しみました。

このほか、スポーツ交流、フォークダンスなどが行われ、充実した1日となりました。



カボチャで訴えた！ 秋の交通安全キャンペーン

10月31日のハロウィーンを前に、新生徒会執行部が大宮町で開催された「パンプキンフェスティバル」のカボチャ9個を使い、「スピードおとせ！」のランタンを作成し、国道312号線橋爪峠に設置しました。この取組は、京都新聞10月20日(日)、毎日新聞10月19日(土)にも掲載されました。



[台風18号]被災地のために 募金活動を行いました。

台風18号による甚大な被害を受けた被災者の方々のため、生徒会で募金活動を行いました。校外と校内で計3回実施し、総額20,372円の義援金が集まりました。募金していただいたお金は、京都府丹後広域振興局に預けました。地域のみなさま御協力ありがとうございました。



祝☆久美高生2名が入賞しました!!

「第2回 子ども読書本のしおりコンテスト」

本のしおりコンテスト



祝☆優秀賞

ふたせ あさみ
二瀬 麻実 さん

(久美浜中出身)

『西の魔女が死んだ』
梨木香歩・著

～受賞者の声～

この賞をいただいて、とても嬉しく思います。この受賞を、自分の今後の糧にしていきたいです。



祝☆佳作

にしむら あき
西村 亜紀 さん

(高龍中出身)

『カゲロウデイズ』
じん(自然の敵P)・著

～受賞者の声～

文化祭準備期間中の慌ただしいなかでの制作にもかかわらず、こんな素晴らしい結果をいただけて、本当に嬉しいです。

4月23日の「子ども読書の日」の啓発事業として、京都府立図書館が主催する【第2回子ども読書本のしおりコンテスト】で7,000点を超える応募作の中から、本校2年生の二瀬麻実さんが優秀賞、西村亜紀さんが佳作に輝きました。

このコンテストは、読んで面白かった本や感動した本について、“絵”と“文字”で表現するもので、京都府内の18歳以下のすべての児童・生徒を対象に、昨年度から開催されています。表彰式は11月2日(土)、京都市内のホテルで行われ、優秀賞を受賞した二瀬さんが出席しました。

入賞作品は、府立図書館のホームページで公開されています。また、平成25年(2013年)12月12日(木)～17日(火)の期間、宮津市立図書館[16日休館]にて、選外作品も含めての展示が予定されています。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

秋の久美浜町内を駆け抜けました!

持久走大会

10月31日(木)午後、やや曇り空でマラソンには絶好のコンディションのなか、持久走大会を男子約17キロ、女子約14キロで、学校→海部→佐濃→田村→神野バイパス→学校の町内を周回するコースで実施しました。



昨年度は雨天中止だったため、2年ぶりの大会となりました。男子も女子も自分のペースを守り、2時間45分の制限時間内の完走を目指して力走しました。PTAの皆様には、給水の御協力や多くの御声援をいただき、ありがとうございました。

＜男子の結果 ()内は出身中学＞

- 1位 梅田 凪(網野中) 1時間07分06秒
- 2位 服部友哉(久美浜中) 1時間08分24秒
- 3位 吉岡伸策(網野中) 1時間13分09秒

＜女子の結果 ()内は出身中学＞

- 1位 田中 里紗(高龍中) 1時間11分41秒
- 2位 酒井 愛夏(網野中) 1時間11分44秒
- 3位 中村知江里(久美浜中) 1時間15分53秒

体育系クラブの活躍

両丹高等学校駅伝競走大会（栗田湾）

10月19日（土）海洋高校をスタート・ゴール、中継所とする海洋・エネルギー研究所コースで、「第66回男子・第28回女子両丹高等学校駅伝競走大会」が開催されました。本校は陸上競技部のみではチームが編成できないため、カヌー一部、バスケットボール部、サッカー一部の力を借り、「混成チーム（学校代表）」として出場し、男女ともに堂々8位に入賞することができました。



カヌー一部 近畿高等学校新人大会

〈結果〉

- 1年 村野武広くん（久美浜中出身）
K-1 1000m 2位 / 500m 優勝 新人賞・MVP賞
- 2年 服部友哉くん（久美浜中出身）
C-1 1000m 優勝 / 500m 優勝 MVP賞
- 2年 中村知江里さん（久美浜中出身）
WK-1 1000m 4位 / 500m 4位



カヌー一部 韓国チームと合同練習



日本代表・トップアスリート交流事業で、韓国の代表と合同練習を18日から20日まで久美浜カヌー競技場にて久美浜高校カヌー一部員9名と韓国代表8名で韓国チーム監督のもと合同練習を行いました。大変有意義な練習と交流ができ、大きな刺激を受けました。

詳細はHPをご覧ください。 [京都府立久美浜高等学校](#)

「久美高・輝・プラン」 自身の在り方・生き方を考える
「世界を見てきて感じたこと、そして伝えたいこと」

10月18日（金）、京都学園大学講師の三浦重則先生をお招きし、全校生徒に講演をいただきました。三浦先生は、陸上競技（投てき）やパワーリフティングの競技・指導を通じて計48回の渡航経験から、世界の国々の素晴らしい自然や食文化、建造物について紹介されました。また、いまだ貧しく、差別に苦しむ国が多くあること、特にナチスドイツのアウシュビッツ、南アフリカのアパルトヘイトでの、虐殺や差別の悲惨さにも触れられ、豊富なスライドを元に丁寧に説明をいただくなかで、不平不満や文句を言わず、努力することの大切さを教えていただきました。



最後に「人間の体は130歳まで働くようにできている。平均寿命の80歳までではなく、大きな目標や夢（希望）を持って、計画的にこの先の人生を送って欲しい。」と結ばれました。生徒達も熱心に聞き入っていました。



高校生伝統文化事業 茶道体験



10月16日から3週間にわたり茶道体験を実施しました。茶道部外部講師の増田妙子先生の御指導のもと、お茶の文化について学び、茶室では慣れない正座に苦労しながらの貴重な体験となりました。躰り口から茶室へ入るのも初めての経験でしたが、お辞儀の仕方・畳の歩き方・お菓子やお茶のいただき方など大人になってからも礼儀として知っておきたいことを学ぶ機会となりました。

（生徒の感想）

- ・部屋に上がるときに躰り口から入るんだと知って、そしてその経緯も聞いて、本当に工夫されているなあと感じた。またお辞儀の仕方も教えてもらって、微妙な違いで印象も変わってくるということを感じた。
- ・お茶を通じて、人としてのマナーや礼儀も学べて良かったです。社会人になる私には、マナーや礼儀はこれから先、大切にしなければいけないことと思います。



生産科学系列の取組

箱石浜松林再生プロジェクト④

11月9日（土）、過去3年間に渡って新植した松苗の下の草刈りのボランティア活動が、7月に引き続き多数の参加者が集まり、実施されました。本校からも、2年生産科学系列の生徒3名が参加しました。夏に同じ場所の下の草をきれいに除草したにも関わらず、雑草の繁殖力は非常に強く、松苗植栽地には、びっしりと雑草が生えていましたが、多くの企業や団体ボランティア、地元の方々と一緒に約2時間汗を流しました。頑張ったかいもあり、大変きれいに雑草を取り除くことができ、最後に参加者全員で、白砂青松の復活を祈りながら、今回も新たに「3年ものの松苗」をていねいに植えました。

